

三ツ峠山&石割山山行報告

【山行日】2025年 11月 8日(土)~9日(日)

【集 合】岩舟支所P AM 5:30

【費 用】マイカー1台 : 14,500円

【メンバー】CL: 鈴木ユ、SL 大西、飯口、伊藤、植竹、田崎、根本、長谷川、渡邊カ、渡邊ト

11月8日(土) 晴れ 表登山道から三ツ峠山に登り、股のぞきや八十八大師から雄大な富士山を楽しみ、三ツ峠山で昼食をいただき下山し、山中湖に移動して対山荘に宿泊する。

岩舟支所 P5:30=いこいの森 P8:10/8:20~

達磨石 8:40~股のぞき 9:20/9:30~八十八大師 10:10/10:20~屏風岩 10:50~四季樂園 11:15~

三ツ峠山 11:30/12:05~四季樂園 12:15~八十八大師 13:00/13:10~達磨石 14:00~

いこいの森 P14:15/14:30=対山荘 15:10

山行アンケートで三ツ峠山に登り、カトリア荘のカレーライスを食べたいとのリクエストがあり、三ツ峠山と足和田山の計画を立てた。ところがカトリア荘は少年サッカーチームが貸切で宿泊の為、



当日は満室で断られてしまった。西湖近辺の宿はほとんど満室の為山中湖の宿を探し、ようやく対山荘を予約することが出来た。

9日の山は山中湖に近い石割山に変更し、岩舟支所を5:30に出発する。

途中、圏央道の八王子 JCT で渋滞し、いこいの森駐車場に20分遅れて到着する。出発の準備を整えてトイレを済ませ、ストレッチを行ったら出発する。舗装道路を登山口まで15分程登って行くが、道沿いに植えられたモミジや

ドダンツツジの紅葉が美しい。登山口から橋を渡りほんの少し登ると、達磨石と呼ばれる自然石に

梵字が刻まれた石が鎮座する。ここから道路を横切り、表登山道に入り樹林帯の急坂を登るようになる。溝状に掘れた九十九折れの道を登ると、大曲と言われる場所で左に鋭角に曲がり展望が開けた股のぞきに出る。ベンチが置かれ赤松が二俣に分かれた間から富士山が見えるため、股のぞきと呼ばれるそうだ。富士山を眺めながら小休止し、衣服調整と水分補給を行う。ここからは自然林の紅葉と富士山を見ながら爽快に歩け、馬返しのベンチから秀麗な富士山を望むことが出来た。



この先から岩交じりの急登が始まり、皆さんの会話も途切れ黙々と登って行く。巨岩の間を縫うように登ると不二石に出て、ここから少し登ると小さな石仏が並ぶ八十八大師に着く。ここからも富士山



の展望が素晴らしく、ベンチで休憩してリンゴや菓子をいただく。ここからは傾斜が緩くなって斜面を巻くように登山道を進み、崩落した箇所を越え沢を壊れた橋で渡って行く。しばらく進むと屏風岩と呼ばれる大岩壁がそそり立ち、多くの人がクライミングを楽しんでいた。初めて見る光景に「ウワ～凄い、あんな直角な岩場を登っていけるんだ！」と驚いていた。屏風岩の下部を巻くように進み、この先から急坂が待っている。急な岩場と階段が連続し、頑張っ

て登り切ると四季樂園の前に出る。ここから右に進みザレた急坂を15分程登ると三ヶ峠山山頂に着き、富士山や南アルプスの展望が得られる。雲が多くなり、さっきまで見えていた富士山は雲の中に隠れてしまった。それでも360度の大パノラマは素晴らしく、皆さん満足そうに山頂写真をスマホに収めていた。お湯を沸かしてランチタイムとし、カップ麺やスープを作ってランチを楽しむ。ランチが済んだら記念写真を撮り、下山開始して往路を戻る。八十八大師で休憩し、おやつを食べて疲れた足を休める。



岩混じりの急坂を下り切ると緩やかな尾根歩きになり、紅葉を見ながら快適に下って行く。下りは余裕があるので「こんなに紅葉が綺麗だったんだ」と感動していた。馬返しから股のぞきまでの稜線は紅葉が見頃で、皆さん楽しそうに下って行く。股のぞきの先で分かれた3名と合流し、会話を楽しみながらゆっくり歩いて駐車場に着く。靴を履き替えトイレを済ませたら車に乗り、今宵の宿「対山荘」へ向かう。東富士五湖道路を進み山中湖 IC で降りて、国道138号線を進むが道路の両側の紅葉が素晴らしい。今年は紅葉の当り年とは聞いていたが、これほど凄い紅葉が道路を走って見られるなんて超ラッキーである。すぐ先の明神前の交差点を左折し山中湖畔を時計回りに進む。湖畔の道路も紅葉真っ盛りで、渋滞のお蔭でゆっくりと紅葉を楽しめ大満足。対山荘に着いたら受付を済ませ、本日は我々だけなので2室と別に広間を使用してくださいとの事。ジャンケンで2部屋に5名づつに分かれ、落ち着いたら風呂に入って広間で反省会が始まる。ビールと八海山で口が滑らかになり、来年の夏山山行の話で大いに盛り上がった。



6時から夕食になり、1階の食堂に移動して美味しくいただいた。明日は雨の予報だが、雨が降ってなかったら6時から山中湖畔を散歩しますと告げ、我輩は広間に一人でゆっくり休んだ。

11月9日(日) 雨 朝から雨の為石割山登山を断念し、忍野八海と北口本宮浅間神社、白糸の滝を観光し、狭山PAレストランで昼食をいただき岩舟支所へ帰着する。

対山荘 8:05＝忍野八海 8:20/9:00＝北口本宮浅間神社 9:20/10:00＝白糸の滝 10:30/11:20＝狭山PA 13:10/13:50＝岩舟支所 P15:00

朝5:00に起きて窓から外を見ると雨が降っており、昨日見えた富士山も見えなかった。皆さんに



山中湖散歩と石割山登山は中止になりますと告げ、又布団の中にもぐり込む。6時になると皆さんが広間に集まって来て、荷造りを終えたらお茶飲みが始まる。今日は雨なので北口本宮浅間神社と白糸の滝を観光しますと言うと、忍野八海も見たいと言うので3ヶ所を観光することに決まった。

7時から朝食になり宿のご夫婦が愛情込めて作ってくれた朝食を、とても美味しくいただいた。朝食が済んだら出発の準備をし、トイレ済ませ

たらご夫婦に挨拶して出発する。山中湖を時計回りに進み、忍野八海手前の駐車場に車を止める。

川沿いの道を進み濁池や湧池の間を通り、水車小屋の脇を進むと一番賑やかな中池に出る。中池の畔には大きな土産店があり、早朝にもかかわらず外国人観光客が大勢で賑わっていた。

池の中にある中池の島には土産店の中を通らないと行けず、土産店の中も賑わっていた。

我輩は50年くらい前に来たので、その時とは全然様子が違い一大観光地になっているので驚いた。皆さんも中池の島をバックに写真を撮ったり、お土産を買ったりと楽しそうに過ごしていた。



この時までは雨は降っておらず、買い物が済んだら駐車場まで戻り次の北口本宮浅間神社へと向かう。国道138号線を北上し、神社前の駐車場に車を止める。道路を渡ると大きな鳥居をくぐり、太い幹の杉林に囲まれた参道を進む。石灯笼が道の両脇に佇む参道は厳かな雰囲気を感じ、朱塗りの「富士山大鳥居」が出迎えてくれる。「富士山大鳥居」は木造の鳥居としては、日本最大の鳥居だそうである。その奥に建つ本殿も立派で、細やかな技巧を尽くした見事な装飾で飾られており歴史



を感じさせる。本殿を参拝したところから雨が降り出し、足早に弊社や摂社を参拝したら車に戻る。

ここからは国道139号線を富士宮市に向かって進み、白糸の滝の案内標識に従って右に進むと大



きな駐車場に着く。立派な駐車場トイレも併設され、音止の滝と白糸の滝まで遊歩道が整備されている。まずは音止の滝を見学し、そこから10分程歩くと白糸の滝観瀑台に着く。幅150mの湾曲した岩壁に大小数百の滝が流れ落ち、その姿は優美で白糸の名にふさわしく美しい景観である。元気な人は河原に降りて、白糸の滝の全景をスマホに収めていた。観瀑台で記念写真を撮ったら駐車場まで戻り、トイレを済ませたら車に乗って帰路につく。往路を戻り富士吉田 IC から中央高速道に

入り、圏央道の狭山SAでランチタイムとする。狭山SA名物の茶そばやモツ煮定食など、それぞれ好きな物をオーダーし美味しくいただいた。ランチが済んだら帰路に着き、岩舟支所に予定より1時間30分早く帰着出来た。

